

指定校からのお知らせ

東北福祉大学 予防福祉健康増進推進室

<研修会>

- 2018/8/26 (日)
 - ①CAD研修会<秋>ディサービスなどの現場向けアートプログラム研修会 10:00～12:00 対象:5級取得者以上
 - ②最新アートプログラム研修会⑬「金彩野草園」 13:30～15:30 対象:4級取得者以上
- 2018/11/11 (日)
 - ①モノトーンアートプログラム研修会No.1-3 10:00～12:00 対象:5級取得者以上
 - ②季節の行事シリーズ研修会⑬「年賀状作り」 13:30～15:30 対象:4級取得者以上

<臨床美術士養成講座> (仙台校)

【臨床美術士養成講座 5級取得コース】

2018年11月期

- 2018/11/18 (日)、11/25 (日)、12/2 (日)、12/9 (日)、12/16 (日)
 - *5日間 全18コマ
 - *9:30～16:50 (15:30終了の回あり)
- 申込締切日: 2018/11/7 (水)
- * 会場は研修会、養成講座ともに東北福祉大学JR仙台駅東口キャンパスです。

申込窓口/東北福祉大学社旗貢献・地域連携センター
予防福祉健康増進推進室
TEL: 022-742-2886

富山福祉短期大学

<地域いきいき・臨床美術セミナー in 小矢部市>

日程: 2018/9/1 (土) 14:00-16:00

会場: クロスランドおやべ

<第4回・第5回 臨床美術士プログラム研修会>

日程: 2018/9/16 (日)

締切: 2018/8/30 (木)

会場: 富山福祉短期大学4号館

<第7回 とやま臨床美術展>

会期: 2018/10/1 (月)～8 (月)

会場: 高周波文化ホール

申込窓口/富山福祉短期大学 共創福祉センター

TEL: 0766-55-1400

ひろしま美術研究所

<研修会>

- 2018/8/19 (日)
 - 午前 「木粉粘土で作るジャンボピーマン」
 - 午後 クロッキー研修会 No.9～16
- 2018/11/18 (日)
 - 午前 「にんにくを作る」
 - 午後 アートワーク研修会②

<臨床美術士養成講座>

【臨床美術士養成講座 5級取得コース】

10月期 5日間コース

- 2018/10/27 (土)、28 (日)、11/4 (日)、10 (土)、11 (日)

【臨床美術士 4級養成講座】

1月期 7日間コース

- 2019/1/19 (土)、20 (日) 2/2 (土)、3 (日)、9 (土)、16 (土) (実習) 17 (日)

申込窓口/ひろしま美術研究所

TEL: 082-506-3060

東北芸術工科大学

<研修会>

- 2018/11/11 (日) 10:00～12:00
CAD研修会<春>
ディサービスなどの現場向けアートプログラム研修会
<http://plusart.tuad.ac.jp/program/arttherapy/#n011>
- 2018/11/11 (日) 13:30～15:30
色鉛筆アートプログラム研修会 No.9-16
<http://plusart.tuad.ac.jp/program/arttherapy/#n012>
対象=臨床美術士5級をお持ちの方

<臨床美術士養成講座>

【臨床美術士養成講座 4級取得コース】

- 2018/10/20 (土)、21 (日)、11/3 (土)、4 (日)、10 (土)、24 (土)、25 (日)

申込締切日: 10/2 (火)

会場: 東北芸術工科大学

<http://plusart.tuad.ac.jp/program/arttherapy/#n004>

申込窓口/東北芸術工科大学 生涯学習プログラム担当

TEL: 023-627-2091

2018年度 日本臨床美術協会主催研修会スケジュール

申込窓口/日本臨床美術協会 TEL: 050-3735-2028

10月14日(日)	長野(松本)	10:00-12:00	ワークショッププログラム研修会 No.5-No.8	5級以上
		13:30-15:30	色鉛筆アートプログラム研修会 No.33-No.38 《フェリシモシリーズ》	
10月27日(土)	香川(高松)	10:00-12:00	ワークショッププログラム研修会 No.5-No.8	5級以上
		13:30-15:30	CAD研修会<春>	
12月8日(土)	静岡(静岡)	10:00-12:00	CAD研修会<春>	5級以上
		13:30-15:30	CAA研修会 No.1-No.3	
2019年 2月2日(土)	岐阜(岐阜)	10:00-12:00	CAA研修会 No.1-No.3	4級以上
		13:30-15:30	CAC研修会 No.10-No.12	
2019年 2月24日(日)	兵庫(神戸)	10:00-12:00	CAA研修会 No.1-No.3	4級以上
		13:30-15:30	1、2歳児向けアートプログラム研修会(1) ～アミー保育室における事例報告～	

表紙掲載 アートプログラム紹介
プログラム名「宇宙羅」

宇宙に光が生まれることを思い浮かべ、星雲や星が流れる様子、光の動きなどをイメージしながら、形式的な羅人形から離れて現実にはありえない羅人形を造形する意外性を楽しみます。

[事務局]

〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂1-9-3 ShonanEminence 3階

TEL. 050-3735-2028 FAX. 050-3737-9007

E-mail: association@arttherapy.gr.jp <http://www.arttherapy.gr.jp>

臨床美術JCAA ニュース 第53号 2018年7月25日発行

発行/特定非営利活動法人 日本臨床美術協会

本誌掲載の記事・写真・イラストの無断転載および複写を禁じます。

JCAA News

臨床美術
JAPAN CLINICAL ART ASSOCIATION

Vol. 53
2018 SUMMER

専門家インタビュー

臨床美術学会第10回大会 2018

大会テーマ「臨床の美術とくものがたり」

2018年度 定期総会報告

資格更新制度要項が改定されました

臨床美術士資格更新制度
単位一覧

新登録団体紹介

- アートゆるり
- クリニカルアートをすすめる会・岩手

協会からのお知らせ



プログラム名「宇宙誕」



特定非営利活動法人
日本臨床美術協会

Japan Clinical Art Association

今、避難者支援の在り方が、大きく変わろうとしています。

東日本大震災の避難者の方たちを支援している医療ネットワーク支援センターの人見理事長に、避難者の現状と、今後の支援の在り方についてお話をうかがいました。



特定非営利活動法人
医療ネットワーク支援センター
理事長

人見 祐(ひとみ たすく)

東京、埼玉、神奈川などには、まだ1万人を超える避難者の方たちが暮らしています。一口に避難者といっても、福島県の場合、帰還困難区域、避難指示解除準備区域、居住制限区域、避難解除区域、そして自主避難の人、というように異なった環境にあり、故郷に帰ることを諦めてこちらに永住する決断をした人など事情はさまざまです。家や道路の除染が進んでも森や山はそのまま、自宅は荒れ放題です。住み慣れた故郷に帰りたけれど現実的には無理。気持ちが揺れ動いているのが、避難している方たちの現状だと思います。

このような中、発災後8年が経ち、支援の在り方にも変化が見え始めています。震災が起こらなければ、皆さん自立して生きていた方たちですから、多くの方が「いつまでも“支援を受ける側”ではなく“故郷のために、あるいは避難してきた人たちのために役に立ちたい”という気持ちを持ち続け日々を暮らしています。このような思いを大事にして伴走することが、これからの支援に必要なのではないかと思います。

今年度、私たちは避難者の経験を「復興文化」として発災時から現在までの時系列でまとめ、昨年震災があった韓国ソウルで9

月に、避難者と共に発表いたします。また、避難者の活躍の場の提供として音楽教室を開催し、2月にはジャズバンドとライブハウスで発表会を予定しています。このような取り組みを通じて引き続き避難者と共に伴走します。

また、現在避難されている地域のコミュニティに溶け込む支援活動もこれからの支援の方向性だと考えております。臨床美術の場合、避難者だけではなく、彼らが地域で新しく知り合った方に参加してもらうことも大切だと思います。

避難者が臨床美術士になって今度は周囲を癒していく。そういう方向に進むのもいいことかもしれません。



臨床美術学会第10回大会 2018

大会テーマ「臨床の美術とくものがたり」

10回目となる今年の大会は富山県での開催です。

さまざまな社会現象を物語の視点からとらえるナラティブ・アプローチが臨床領域で成果をあげている今日、人と人との関わり合いの場におけるくものがたりの成り立ちと臨床の美術のチカラを考えます。皆様のご参加をお待ちしております。

日 程：10月6日(土)7日(日)

会 場：富山福祉短期大学(富山県射水市三ヶ579)

大会長：北澤 晃(富山福祉短期大学教授・元学長)



10/6

基調講演：佐藤 伸彦(ものがたり診療所 所長)

医療の立場から「抵抗の物語」「スキルとしての物語」「実践の物語」についてご講演いただきます。

対 談：佐藤 伸彦・北澤 晃

シンポジウム：テーマ「くものがたり」の場の創出と臨床美術」

臨床美術に関わらせて創出したくものがたりをシンポジストから提起して頂き、そのくものがたりの成り立ちの要件を探ります。



佐藤 伸彦氏

10/7

分科会：テーマ「様々な領域における臨床美術のものがたり」

前回に引き続き情報共有型分科会で行ないます。参加者の皆様は関心のある分科会へお申込み頂き、各テーマに沿った話題提供者のもと具体的な討議を行います。

第1分科会「子どもの表現世界と臨床美術」

第2分科会「障がい者に対して臨床美術が為せること」

第3分科会「高齢者現場に広がる様々な自己」表現のものがたり」

研究発表(ポスターセッション形式)

昨年同様一般研究発表をポスターセッション形式で行い、発表者が座長や参加者と直接的な質疑応答を行います。

10月6日(土)	12:00~12:40	受付
	12:40~13:00	開会式
	13:00~14:00	基調講演 ものがたり診療所所長 佐藤 伸彦
	14:00~14:45	対談 佐藤 伸彦・北澤 晃
	15:00~17:00	シンポジウム 「くものがたり」の場の創出と臨床美術」
	17:30~19:30	情報交換会(懇親会) 会場：浦山学園USP 富山福祉短期大学共創福祉センター
10月7日(土)	8:30~ 9:00	受付
	9:00~10:30	研究発表(ポスターセッション形式)
	10:40~11:50	分科会「様々な領域における臨床美術のものがたり」
		第1分科会「子どもの表現世界と臨床美術」
		第2分科会「障がい者に対して臨床美術が為せること」
	12:00~12:30	閉会式
13:00~18:00	オプションツアー	

申し込み方法等、詳細は別刷りのご案内をご覧ください。

2018年度 定期総会報告

5月26日に2018年度定期総会を開催いたしました。

5月20日時点現在において議決権総数は2079名で、本人出席15名、

委任状による出席765名の合計780名で、定款第27条に定める定足数3分の1以上を満たしたため、総会が成立しましたことをご報告いたします。

2017年度

2017年度 事業報告(事業報告書)

1. 会員状況

	2016年度	2017年度	差異
一般会員	0名	0名	0名
資格認定会員	2362名	2349名	-13名
5級	784名	744名	-40名
4級	1327名	1350名	23名
3級	218名	222名	4名
2級	19名	20名	1名
1級	14名	13名	-1名
個人賛助会員	2名	3名	1名
団体賛助会員	9団体	9団体	0団体
指定校	6団体	6団体	0団体
認定施設	3施設	3施設	0施設

2. 資格更新状況

	2016年度			2017年度		
	対象者	更新手続完了者	計	対象者	更新手続完了者	計
級別人数	910名	661名	73%	220名	147名	67%
5級	280名	121名	43%	69名	28名	41%
4級	504名	422名	84%	117名	87名	74%
3級	115名	108名	94%	31名	29名	94%
2級	11名	10名	91%	3名	3名	100%

3. 登録団体・指定校・サポーター・アート塾講師状況

	2016年度			2017年度		
	新規登録	辞退	計	新規登録	辞退	計
認定施設	0施設	0施設	3施設	0施設	0施設	3施設
登録団体	1団体	1団体	11団体	1団体	0団体	12団体
指定校	0校	0校	6校	0校	0校	6校
アートサポーター	52名		101名	274名		375名
アート塾講師	8名		35名	7名		42名

4. 臨床美術の普及活動

- 第9回臨床美術学会大会——学会大会参加 182名
- 認定施設の促進——新たに「臨床美術活動施設要綱」の制定
- 普及のための新たな企画の実施(介護予防・ストレスケアなど)

	内容	開催日	開催地	参加人数計
特別講座	"臨床美術で子どもが変わった"	8月25日	東京	40名
		3月25日	京都	61名
	"ナラティブ講座"	12月10日	大阪	23名
		2月4日	東京	41名
		3月25日	京都	61名
いきがい大学講座	"アートで楽しく"	6月13日	埼玉	108名
		6月15日	埼玉	110名
		6月16日	埼玉	90名
		合計		534名

- 指定校(団体賛助会員)への支援(養成講座の広報支援、認定後の新規会員のフォロー)
- ホームページでの情報発信——HPを全面リニューアル
- 活動実態調査の実施——1月にWEBアンケートを実施

5. 臨床美術士の質の維持

- 資格更新制度の周知、運営1月に——単位取得項目の一部改定
- 協会主催の研修会の実施

	内容	開催日	開催地	参加人数計
研修会		5月20日	兵庫	42名
		6月24日	愛知	36名
		7月8日	沖縄	38名
		7月15日	新潟	16名
		9月9日	長野	8名
		10月1日	北海道	20名
		11月25日	福岡	33名
		12月9日	香川	15名
		1月20日	静岡	13名
		2月17日	岐阜	39名
		合計		260名

③ 協会主催の講座の実施

	内容	開催日	開催地	参加人数計
カウンセリング講座	東京Ⅳ(5回シリーズ)	9月15日~1月26日	東京	47名
	地方単発開催	7月15日	大阪	40名
	合計			87名

④ 休会会員の支援(有料による情報提供の開始)

6. 臨床美術士への活動支援

- 地域ごとの活動支援(交流会など)——広島、東京で交流会開催
- 被災地支援プロジェクトの継続——東北、関東での活動を継続
- 臨床美術士のキャリア支援、「臨床美術士ステーション」の周知、運用など——企業、施設等からの依頼に対して情報発信
- 臨床美術士への情報提供の充実——会報誌JCAANewsを7月と12月に発行

2017年度 決算

科目	2017年度予算	2017年度決算	差異
経常収益計	53,265,000	49,311,113	-3,953,887
経常費用計	52,439,000	46,701,165	-5,737,835
当期経常増減額	826,000	2,609,948	1,783,948

定款変更について

下記のように改定されました。

改定案(一部削除)

定款 第2章 目的および事業

第3条 この法人は、臨床美術士の育成と社会的地位の確立を目指すとともに、臨床美術の専門知識と高度な技術の向上と普及を支援し、健康で豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。

改定案(追加)

定款 第2章

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- 特定非営利活動に係る事業
- 臨床美術学会を置き、臨床美術および関連学際領域の研究、調査を行なう。また別途臨床美術学会規約を設ける。

2018年度

2018年度 事業計画

臨床美術士への活動支援

- 第10回臨床美術学会大会——富山福祉短期大学で実施(10月6日、7日)
- 「認定施設」「臨床美術活動施設」の促進
- 普及のための新たな企画の実施——公開セミナー、特別講座、生きがい大学など10回を計画
- 指定校(団体賛助会員)への支援(養成講座の広報支援・開講にむけ連携の強化)
- ホームページでの情報発信
- 活動実態調査の継続

臨床美術士の質の維持

- 資格更新制度の周知、運営——制度の改定と告知
- 協会主催の研修会の実施——各地で10回開催予定
- IT環境を使った遠隔講座の調査・準備

臨床美術士への活動支援

- 各地域での交流会の実施(研修会同日での開催予定)
- 被災地支援プロジェクトの継続
- 臨床美術士のキャリア支援、「臨床美術士ステーション」の周知、運用など
- 臨床美術士への情報提供の充実

2018年度 予算

科目	2017年度決算	2018年度予算	差異
経常収益計	49,311,113	50,156,200	845,087
経常費用計	46,701,165	48,879,784	2,178,619
当期経常増減額	2,609,948	1,276,416	-1,333,532

臨床美術士資格更新制度単位一覧

資格更新制度要項が改定されました

2018年5月26日の日本臨床美術協会理事会において、臨床美術士資格更新制度の単位取得対象項目等についての改定が承認されました。日頃、臨床美術の実践が難しい方も自己研鑽に努めながら単位が取得できるように、単位取得項目が大幅に追加となりました。2018年6月1日

施行となりますので、それ以降の活動については対象となります。「改訂版 資格更新制度要項」を同封しておりますので、そちらも併せてご確認ください。改定内容について不明な点やご質問は日本臨床美術協会事務局までお問い合わせください。

実施する

項目	単位数	基準	対象となる級	記録方法
1 臨床美術の実施（ご家族・ご友人への実施も可）5級	2	60分1コマ	5級	活動報告書に記入
2 臨床美術の実施（ご家族・ご友人への実施も可）4級以上	3	60分1コマ	4級以上	活動報告書に記入
3 協会主催のボランティア活動への参加	2	1回	全級	単位集積記録表に記入
4 アート塾講師の認定をうける	5	認定時	4級以上	単位集積記録表に記入
5 協会が依頼したボランティア活動（セッション以外）への参加	2	1回	全級	活動報告書に記入

普及活動をする

項目	単位数	基準	対象となる級	記録方法
1 臨床美術士ステーションへ登録する	3	登録時	4級以上	単位集積記録表に記入
2 臨床美術の作品展を企画、開催	5	1回	全級	活動報告書に記入
3 臨床美術の作品展開催に協力する	2	1回	全級	活動報告書に記入
4 臨床美術普及のためのイベントへの企画、出展	5	1回	全級	活動報告書に記入
5 臨床美術普及のためのイベント出展に協力	2	1回	全級	活動報告書に記入
6 各種研修会講師	6	1コマ	2級以上	単位集積記録表に記入
7 臨床美術士養成講座添削講師（添削講師講座を受講した者）	1	1添削	3級以上	単位集積記録表に記入
8 臨床美術士養成講座講師（講師育成講座を受講した者）	6	1コマ	2級以上	単位集積記録表に記入
9 アートプログラム実践塾講師	6	1コマ	2級以上	単位集積記録表に記入
10 公開セミナー講師	6	1回	2級以上	単位集積記録表に記入
11 日本臨床美術協会認定講演会講師	6	1回	2級以上	単位集積記録表に記入
12 臨床美術学会勉強会講師	6	1回	全級	単位集積記録表に記入
13 日本臨床美術協会が認める臨床美術に関する著作	1～10	1出版	全級	著作した作品を協会へ提出し単位集積記録表に記入
14 臨床美術に関する講座の講師	5	1コマ	2級以上	単位集積記録表に記入

関わる

項目	単位数	基準	対象となる級	記録方法
1 日本臨床美術協会 総会に参加する	5	1回	全級	単位集積記録表に記入
2 公開セミナーに参加する	2	1回	全級	単位集積記録表に記入
3 日本臨床美術協会主催の交流会に参加する	2	1回	全級	単位集積記録表に記入
4 登録団体主催の総会および交流会に参加する	2	1回	全級	単位集積記録表に記入

学ぶ

項目	単位数	基準	対象となる級	記録方法
1 協会認定の各種研修会に参加する	3	1回	全級	単位集積記録表に記入し、講師の捺印をもらう
2 臨床美術に関する特別講座に参加する（各指定校主催講座も含む）	2	1回	全級	単位集積記録表に記入し、講師の捺印をもらう
3 芸術造形研究所主催の感性アートゼミ（通信講座を含む）に参加する	12	1コース	全級	単位集積記録表に記入し、講師の捺印をもらう
4 芸術造形研究所主催のアートプログラム実践塾に参加する	3	1回	4級以上	単位集積記録表に記入し、講師の捺印をもらう
5 日本臨床美術協会認定の講演会に参加する	2	1回	全級	単位集積記録表に記入
6 指定図書を読む（レポート提出不要）*	1	1冊	全級	単位集積記録表に記入
7 臨床美術に関する勉強会に参加する	2	1回	全級	単位集積記録表に記入
8 臨床美術学会大会（国内・国際）への参加	5	1日	全級	単位集積記録表に記入、参加証を単位集積記録表の裏面に添付
9 臨床美術学会大会（国内・国際）での研究発表・報告・ポスター発表	20	1回	全級	単位集積記録表に記入、参加証を単位集積記録表の裏面に添付
10 臨床美術学会勉強会に参加する	3	1回	全級	単位集積記録表に記入、参加証を単位集積記録表の裏面に添付
11 日本臨床美術協会が認める学会での研究発表・報告	10	1回	全級	単位集積記録表に記入、参加証を単位集積記録表の裏面に添付
12 日本臨床美術協会が認める学会への参加*	3	1日	全級	単位集積記録表に記入、参加証を単位集積記録表の裏面に添付

* 指定図書、関連学会の詳細は臨床美術士ハンドブックをご参照ください。

色の事項が変更・新設されました。

特別講演会 | 東京

特別講演会 「描く、造る」ことが心を表現する。
— 美術による認知症治療のメカニズムを考える —

メモリークリニックお茶の水 顧問医師
日本臨床美術協会 顧問 宇野 正威
日時 2018年2月18日(日)
場所 東京藝術大学美術学部



認知症は、徐々にではあっても進行し、日常生活動作の低下に表される認知症機能の低下、および自分が自分である感覚が薄れるとともに情動面の変化を来たしやすいくことを解説された後、臨床美術の効果について講演されました。普段意欲のない認知症の人が、臨床美術の場では真剣な表情で制作に没頭

します。プログラムの内容だけでなく、準備段階で過去の記憶や今の気持ちを語り合うことで、穏やかな気持ちで自分の思いを作品に表現できるのでしょうか。その創作活動が「Well-Being (幸せな状態)を高めている」と説明され、そのメカニズムについて先生のお考えを話されました。

第33回公開セミナー | 北海道

6月9日に札幌市のかでる2・7で第33回公開セミナーが開催されました。

講師は協会常任理事の北澤 晃(富山福祉短期大学教授)先生。

「地域福祉におけるコミュニティーづくり・美術による新たな取り組み」をテーマに臨床美術の役割と仕組みの話から哲学的な話まで70分の講演がありました。77名の(内臨床美術士19名)方が参加され、講師の話に真剣に耳を傾けていました。制作体験や臨床美術の作品展示もあったので、半日で臨床美術を理解できるセミナーとなりました。



新登録団体紹介

アートゆるり



アートゆるりは、兵庫県を中心に関西エリアから会員が集まり今春立ち上げました。

今後、高齢者施設への活動を中心に活動していきますが、各地域への臨床美術の普及や会員の個人活動への協力にも力を入れていきたいと思ひます。

また、勉強会や練習会を開くことで、会員同士の交流や情報交換が気軽にできるような場をつくりたいと思ひます。

連絡先 代表: 細見 典子
E-mail: art.yururi@gmail.com
URL: <https://artyururi.wixsite.com/kobe>
(当法人はNPO 法人アートゆるりに所属する団体です)

クリニカルアートをすすめる会・岩手



2013年に臨床美術普及と臨床美術士の社会的地位確立を目指して設立した当会は、ついに団体登録することができました。これまで、協会や(株)フェリシモをはじめ各地の臨床美術士の皆様のご支援ご協力を賜りながら、東日本大震災被災地でのボランティア活動および各種普及活動を進めることができました。ありがとうございます。今後も会員一同力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。

連絡先 代表: 小野寺 牧子
TEL: 019-681-4406
E-mail: m.psyche@outlook.jp

協会からのお知らせ

1 「臨床美術 活動施設」制定のお知らせとお願い

臨床美術が実施されている全国の施設を協会ホームページでご紹介することにより、臨床美術の広がりをお求め、社会的な認知度をあげることを目的としています。また施設としては独自性をアピールする事ができ、双方にとって有益なることを目指しています。ご協力いただいた施設等へは、①「臨床美術活動施設」認定証の発行、②臨床美術ガイドブック年間20部の提供 ③会報誌発効毎5部の提供 ④会報誌やホームページ等の宣伝媒体等において、臨床美術の活動施設としての紹介をさせていただきます。会員の皆様には是非現在活動している施設等にお声がけいただき、臨床美術の普及にご協力をお願いいたします。詳しくは同封の資料をご確認ください。

2 「臨床美術士ステーション」へ登録しませんか？

全国の臨床美術士を紹介するサイト「臨床美術士ステーション」をご存知でしょうか。自身の臨床美術士としてのプロフィールを登録することで、臨床美術士を探している企業や個人からの問い合わせの窓口として活用することができ、営業ツールの1つとしても有効です。・資格認定会員であること、・4級以上で現場経験があること、・電子メールの環境のある方(携帯不可)が主な登録条件となります。登録をご希望の方、興味がある方は、協会事務局までお問い合わせください。

臨床美術士ステーション
<http://www.clinicalartist.jp/>

協会主催の講座紹介

● 特別講座 「ナラティブ講座」in 名古屋

東京、大阪などで開催されている「ナラティブ講座」が11月に名古屋で開催されます。以下、講師からのメッセージです。

“モノ化”する場に“こと性”の回復を

自己を(生きること)から離れ、表層に浮いた意識においては、ありとあらゆる(こと)はモノ化します。ナラティブ・アプローチも生きた(ことば)の連なりを失ったとき、モノ化し、誰でも交換可能な「私」となるのです。東京、大阪で開催した「ナラティブ講座」から一歩新たに踏み出します。名古屋講座では“こと性”を新たなキーワードとし、“こと性”の窓から見える風景の在りようを考えてみます。私たちは、作品の見方さえモノ化していないでしょうか。

日 時：2018年11月24日(土)14:00～15:40
会 場：ウインクあいち：愛知県産業労働センター 1206会議室
対 象：一般、臨床美術士(更新制度単位取得対象講座：3単位)

講 師：北澤 晃(富山福祉短期大学教授、日本臨床美術協会常任理事)
受講料：5,400円(税込)

● 特別講座 専門家から学ぶ「知らないといけない個人情報・肖像権・著作権の話」

2017年5月30日、改正個人情報保護法が全面施行され、個人情報の件数に関らず法を守る義務が課せられています。

参加者の個人情報をどの様に扱うのか、資料の肖像権や作品の著作権など、臨床美術士が知っておかなければならない基礎知識を協会顧問弁護士の赤司先生より講義していただきます。

日 時：2018年10月28日(日)14:00～15:30
会 場：お茶の水OCCビル 教室
対 象：一般、臨床美術士(更新制度単位取得対象講座：3単位)

講 師：赤司 修一(弁護士)
受講料：5,400円(税込)

●【上記講座のお申込み・お問い合わせ先】●

特定非営利活動法人 日本臨床美術協会 事務局

Eメール association@arttherapy.gr.jp

TEL 050-3735-2028 FAX 050-3737-9007

※希望講座名、受講者氏名、電話番号を必ずご連絡ください。

※メールの場合、受付後に受付完了メールをお送りしております。受付完了メールが届かない場合は、メール送信エラーになっている可能性がありますので、お手数ですが再度お申込ください。